

第1回 玉野市消防本部署所再編検討委員会 議事概要

日 時 平成31年2月22日(金)14:00～15:50

場 所 玉野市消防本部 3階大会議室

出席者 築島 尚 (岡山大学大学院社会文化科学研究科教授) 藤田 尚徳 (玉野地区防火協会会長)
善勝 剛志 (岡山県消防保安課長) 中根 正雄 (玉野市消防団長)
太田 通雄 ((株)三井 E&S ホールディングス玉野総合事務所 自衛消防隊長)
森永 美代子 (玉野市婦人協議会長) 大西 英利 (玉野市医師会 事務局長)
飯尾 美代子 (玉野市地域包括支援センター次長) 近藤 寿子 (玉野市教育委員会 委員)
立花 美雄 (山田中学校区 山田地区コミュニティ連絡協議会 会長)
東山 明正 (宇野中学校区 築港西コミュニティ協議会 会長)
江田 康夫 (玉中学校区 玉地区コミュニティ協議会 会長)
田中 徹 (日比中学校区 渋川連合自治会 会長)
大西 敏夫 (荘内中学校区 荘内連合自治会 会長)
瀬良 一成 (八浜中学校区 見石ニュータウン自治会 会長)
黒田 晋 (市長)
オブザーバー 土山 美英 (玉野警察署 副署長) 齊藤 俊幸 (玉野海上保安部 次長)

欠席者 岡崎 幸生 (東兎中学校区 東兎地区コミュニティ協議会 会長)

事務局 松岡 秀樹 (消防長) 齊藤 誠二 (消防本部次長)
井上 潤一 (消防総務課長) 美本 一晃 (消防総務課参事)
桑折 恭平 (政策財政部長) 中嶋 英生 (財政課長)
津田 岳史 (財政課長補佐)

議事の概要

1 開会

2 開会あいさつ (玉野市長)

市政を進めていく上で、市民の安全・安心の観点が一番重要であり、平成16年の高潮災害において消防署の周辺が被害にあっていることを考えると、今後発生が予想される大規模災害時の対応ができる体制づくりは非常に重要である。本市としては、人口8万人という時代から、人口減少が続く中で、サービスのあり方の見直しを進めているところである。今日の消防署所に関する議論は市民の安全・安心に直結する内容でもあるため、検討メンバーには女性の視点として3名の女性委員にご参加いただいている。本市の消防・救急は、入電から現地到着までの時間という点では、全国に誇れるような体制となっており、今後、どのような形にしていくのかは検討会の議論を重ねていく中で見えてくるものと考えているが、本市の将来を見据えていただきながら、忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 委員紹介

4 委員会の開催趣旨説明 (事務局)

5 委員長選出

事務局 学識経験者である築島委員にお願いしたい。

全委員 : (意義なし)

6 副委員長選出

事務局 副委員長を藤田委員にお願いしたい。

全委員 : (意義なし)

7 議 事

事務局 : (1) 消防本部の現在の状況について

※資料により事務局説明

委 員 分団についての記載がないが説明いただけるのか。

事務局 消防団については今回の再編については考えていない。

委 員 火災発生状況で平成28年と30年が損害額が極端に少ないが何か理由はあるのか。

事務局 それ以外の年には、企業での火災があったので損害額が多額になった。

平成28年と30年は企業での火災がなく、損害額が減少している。

委 員 今回の委員会の目標として、いつまでにどうしたいと見えてこない。

どのような予定でどのような問題があるのか教えてください。

事務局 平成16年に高潮被害を受けている。具体的な期日はないが、近い将来に大規模災害が想定されているので、できるだけ早い時期に再編の議論を進めたいと考えている。

委 員 問題は予算だと思うが、お金がなかったら出来ないと思うが、その辺りが心配。

政策財政部長 防災拠点施設を移転する場合に活用できる有利な起債など、その時々により有利な国・県の財政措置を活用し、対応していきたい。

委 員 補助金が出るのか。

政策財政部長 補助金はないが、地方債について、借金の一部を地方交付税でという形で財政措置をしていくものがあるほか、行革を進めていく中で財源を捻出していきたい。

委員長 我々、検討委員会の任期が来年の3月31日までであるため、早い時期で議論を進めていきたいと考えている。

委 員 平成16年の台風ではいくらお金を使ったか。

財政課長 平成15年の基金残高が約17億円。平成16年の災害復旧事業のために基金を取り崩した結果、平成17年度は1.1億円まで減っている。

委 員 現在の出張所の配置場所を決めた理由、出張所の持ち分と管内人口は。

事務局 署所の配置は過去の町村合併によるもの。管内の人口などは次回までに用意する。

委 員 統廃合されたら、地区によっては出張所からの距離が遠くなると思っている。それは仕方がないが、土砂災害や高潮など様々な災害を想定した際に、市の危機管理と消防と自主防災組織の3つがどう連携し、役割分担できるのか。

市長 今日から始まる議論については、消防のあり方を検討する中で、自主防災組織と災害時の連携をどうするか、避難所についてはどうか、ということも議論されると思う。

市役所だけで考えるのではなく、住民代表の皆様から意見をいただくことで再編整備のあるべき姿に反映させていく必要がある。この委員会を立ち上げて、様々な立場の方に参加していただいたのも、地域の意見や考え方を伺いすることが目的であり、そのためにも、より多くの方に関心を持ってもらう必要がある。

地域との役割分担に関する意見は、これからも出てくると思うので、整理整頓に時間をいただきたい。再編に要する費用など財源面については、市が試算などを行っていくので、再編のあるべき姿、方向性について、検討会の中でご協議いただきたい。

委員長 これから1つ1つ議論を深めていきたいと思う。

事務局 次第7（2）今後の状況について資料により説明

今後の国・県の動きについて岡山県消防保安課長の善勝委員に説明をお願いしたい。

善勝委員 今まで、玉野市の状況を伺ったが、全国的にも同じような状況である。

人口減少などを背景に、火災については全国的に減少傾向である。その代わりに高齢化による救急件数は右肩上がりである。また、災害時の救助業務が重要視されている。

施設の面では、耐震化や無線のデジタル化など、必要な経費が見込まれていることから、国のひとつの方策として、消防は単独ではなく、隣同士の自治体での共同運用に関する指針を10年前から示しているが、全国的に進んでいない。

複数の自治体が一緒に運営する場合、費用面では効率的になるが、距離があまりにも遠くなると住民サービス低下のおそれや消防団との連携も課題となる。岡山県内では、県北の3つは指令業務を共同運用している。その他にも、はしご車を共同運用している事例がある。

県も平成20年に広域化計画を作ったが、進んでおらず、今のところ14本部が1つにという動きはない。

委員長 次第7（2）今後の状況について質問がある方はどうぞ。

委員 消防のカバーする業務の範囲は具体的にどういうものなのか。

分団、出張所はどれくらいをカバーしているのか。

何を基準に出張所を置いているか。

各出張所、分団、玉野市の協力体制はどうなっているか。

事務局 消防・救急のほか、台風など災害対応や、人命検索なども業務のひとつ。

出張所の配置については、町村合併の経緯もあり、現在に至っている。

委員 各分団の抱えている人数はわかっているか。

事務局 各分団は行政区分で区切っている。具体的な管内の人数は、次回までに資料を用意する。

【休憩】

事務局 次第7(3)玉野市行財政改革大綱実施計画(個別計画)について資料により説明

委員 いつまでに何をというのはまだ出ていないが、だいたいどのくらいの目安なのか。

事務局 通信指令台の更新を平成32年度に考えているので、それが1つの目安になるものと考えている。

委員 再編の議論をしていくうえで、検討会の内容を広く一般市民も知っておいた方が、自主防災組織のあり方を準備出来る。

事務局 検討会の議論した内容は、議会報告のほか、広報紙やホームページで公表する。地区にも説明しながら進めていくこととなる。

委員 消防分団に関する方針のようなものはあるのか。

消防長 この検討会は、消防署と出張所の再編を目的としており、消防団の再編は考えていない。

委員 今4つの出張所があるが、2箇所にするとかの案はいくらかあるのか。

消防長 消防本部として内部検討はしているが、配置についてはこの検討会でご議論していただく。

委員 消防と関係ないが、見直すときには人口配分とか配置とかも考えて決めないといけない。便利が良いからここにする、というだけではよくないと思う。

委員 効果額4,900万円の内容を具体的に説明してほしい。

事務局 人件費の単価を職員数1人当たり700万円と設定し、職員削減による効果額として、平成28年度に試算し、計画に位置づけたものです。

委員 建物の維持費用などは含まれていないのか。

事務局 人件費を削減するというところで試算したものである。

委員 人件費の削減ということは、どこか施設がなくなるということか。

事務局 行革の計画を策定した際には、本部員と本署の人員配置の効率化によって、全体の職員数を減らすという試算を行っており、出張所の削減による効果は見込んでいない。

委員 出張所がなくなるということの効果額であれば、市民は心配する。

委員 これは、お金を節約しようという話で、最終的に財政硬直率は何%までいくつもりか。

財政課長 平成29年度の経常収支比率は94.6%だが、今後、市民病院の建設、給食センターの建て替えがあるので、将来的に悪化する可能性が高い。当面は平成32年度に98%、平成37年度に95%まで抑えていこうと目標を定めている。

委員 庁舎の再編を何とかしたいとの回答があったが、今の行革大綱の中には入っていない話か。

事務局 行革大綱の実施計画において、短期的には人件費を削減して効果をあげていくが、中長期的な考えで消防署及び消防車両のあり方について、計画を立てることになっている。

次第7(4)その他 今後のスケジュールについて

事務局 本日、ご議論いただいた内容について、市議会に報告を行う。

また、次回の予定は3月25日(月)14時からを予定している。

委員 議題は何か。

事務局　本日の内容を参考にしたうえで、今後の消防本部の在り方について皆さんから意見を伺いたいと考えている。本日質問のあったデータ等に関する資料も準備する。

委員長　少しずつ具体的な話で進めていきたい。議論の中にもあったが、実際にどういう場所を念頭に置いているのか。費用の問題等も出てきたので、こうした資料について示してもらいたい。また、候補地等も念頭にあると思うので移転に伴う費用等も示してもらい、より具体的な話の中で意見を出してもらえたらと思う。事務局においては、それを含めた資料を提供いただきたい。

事務局　次回までに市が保有する土地と移転に伴う費用、分団、小学校区の人口の割合等について、資料を用意する。

委員長　それでは、議事について終了したので、進行を事務局にお返しする。

8 閉会